ツートラム®錠
を服用される患者様へ

慢性疼痛を治療される患者様用

日本臓器製薬

はじめに

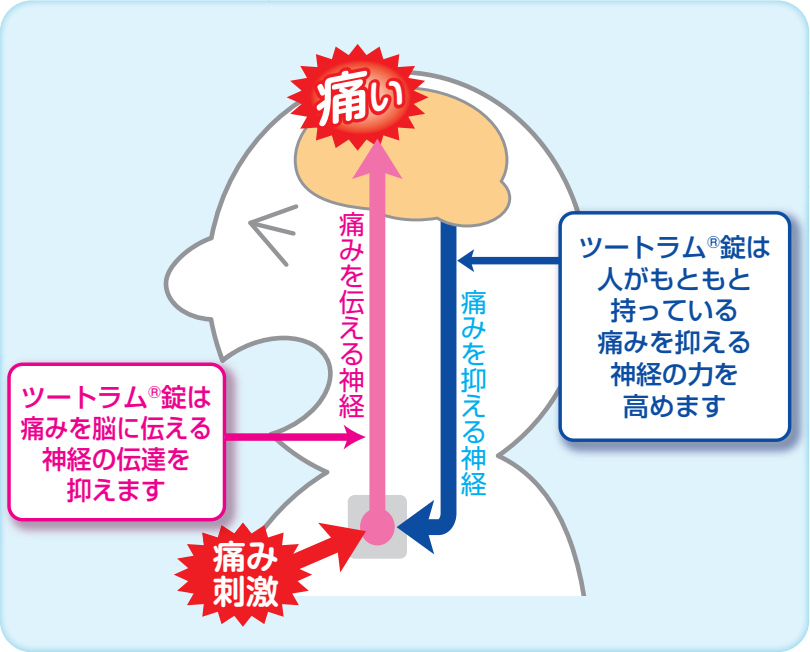
この説明書には、持続性鎮痛薬であるツートラム®錠を服用される患者様へ、ツートラム®錠の服用方法、副作用、保管方法が記載されています。
ツートラム®錠を服用する前にお読み下さい。

ツートラム®錠について

このお薬は、１回の服用で12時間鎮痛効果が持続するようにつくられた持続性の小型錠で、１日2回の服用で24時間痛みを和らげます。

この錠剤は、速く溶けて効果があらわれる速放部とゆっくり溶けて効果をあらわす徐放部の2層になっています。

ツートラム®錠は、2つの作用によって痛みを和らげます



痛み刺激は、神経を通って脳に伝達され、脳で痛みを感じます。ツートラム®錠は、痛み刺激を受けた部位から脳への痛みの伝達を抑えます。

また、人がもともと持っている痛みを抑える神経が存在します。ツートラム®錠は、その神経の力を高めることで、痛みを和らげます。

慢性疼痛の治療に使うお薬

３ヵ月以上続く痛みを「慢性疼痛」といいます。
「慢性疼痛」があると、家事や仕事ができなくなったり、夜間に眠れなくなるなど、普段の生活が制限されることがあります。

この「慢性疼痛」の治療は、普段通りの生活を取り戻すことを目的に行います。

慢性疼痛の治療

慢性疼痛とは	●骨折や外傷が治っても持続する痛み ●気持ちの持ち方やまわりの環境も、痛みに悪影響をおよぼします
痛みが続く期間	３ヵ月以上
病院向けのお薬	ノイロトロピン®錠、ツートラム®錠、 ノルスパン®テープ、フェントス®テープなど

慢性疼痛を治療するために

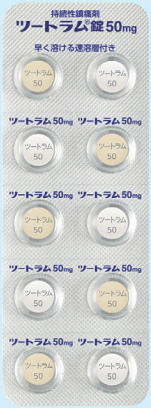
ツートラム®錠は、1日2回服用するお薬です。
はじめて服用する際は、少量(1回50mg)から始めて下さい。
必要であれば、先生の指示に従い、痛みに応じて少しずつ量を増やして、あなたに適した用量を決めます。

ツートラム®錠50mg

表　裏

PTPシート

表



裏

縮小率53%

ツートラム®錠100mg

表　裏

PTPシート

表

裏

縮小率53%

ツートラム®錠150mg

表　裏

PTPシート

表

裏

縮小率53%

ツートラム®錠を正しく服用いただくために

1 医師の指示どおりに服用して下さい。

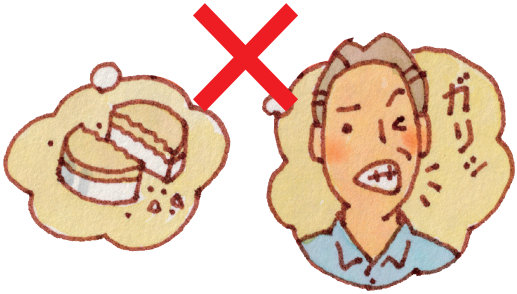
朝・晩の食前もしくは食後や寝る前など決められたときに服用して下さい。
飲み忘れた場合は、医師又は薬剤師に相談して下さい。
ご自身の判断で服用回数や量を変更しないで下さい。

誤って多く飲んだ場合は、すぐに医師又は薬剤師に相談して下さい。

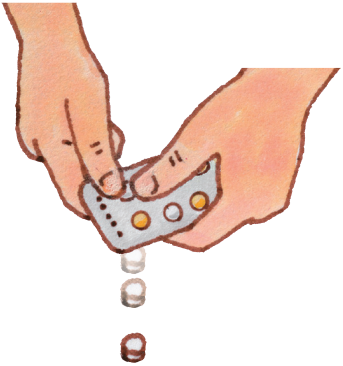
2 処方された量で痛みがとれなかったり、気になる症状がある場合は、すぐ医師又は薬剤師に相談して下さい。

3 服用する際は、割ったり、かみくだいたりしないで下さい。

ツートラム®錠は、2層になっており、速く溶けて効果があらわれる層とゆっくり溶けて効果をあらわす層を重ね合わせています。服用の際に割ったり、かみくだいたりして飲むと、お薬が早く溶けてしまい、重篤な副作用があらわれるおそれがありますのでしないで下さい。



4 ツートラム®錠はシートから出して服用して下さい。



痛みの治療について

痛みがとりきれなかった場合は、医師に相談いただければ、ツートラム®錠の飲む錠数を増やしたり他の治療法と組み合わせた治療など、あなたの痛みの程度に応じて治療されます。

慢性疼痛は長期にわたることもありますので、治療や痛みの経過を振り返りながら、自分に合った治療を医師と話し合いましょう。

副作用について

ツートラム®錠を服用すると、吐き気・嘔吐（おうと）、便秘、眠気、めまいなどの副作用があらわれることがあります。症状に応じて対策をとることで、副作用をコントロールすることができます。

●吐き気・嘔吐（おうと）

飲み始めたころにあらわれることがあります。
通常1～2週間程度でなれが生じ、吐き気止めの投与の必要がなくなります。
症状が続く場合は医師又は薬剤師に相談して下さい。

●便　秘

飲み始めたころにあらわれたり、便秘の症状が悪くなることがあります。便秘が認められた場合は、医師又は薬剤師に相談して下さい。下剤を一緒に服用することで、便秘はコントロールができます。

●眠　気

飲み始めたころにあらわれることがあります。
通常数日でなれが生じ、自然になくなりますが、眠気がとれない場合は、医師又は薬剤師に相談して下さい。ツートラム®錠を飲まれている時は、自動車の運転など危険を伴う機械の操作は避けて下さい。

●めまい

飲み始めたころにあらわれることがあります。
症状が続く場合は医師又は薬剤師に相談して下さい。ツートラム®錠を飲まれている時は、同様に自動車の運転など危険を伴う機械の操作は避けて下さい。

重大な副作用について

いずれもごくまれですが、下記のような症状があらわれることがあります。これらは副作用の初期症状である可能性がありますので、このような場合には、お薬の服用をやめて、すぐに医師の診療を受けて下さい。

- 息苦しい、眼や唇のまわりのはれ、じんましん
- 呼吸回数が減少する
- 力を入れていないのに筋肉がピクピクする
- 痛みはないのにお薬を服用しないと落ち着かない
- 意識がもうろうとしてくる

これらの副作用以外でも気になる症状があらわれた場合はすぐに医師にご相談下さい。

ツートラム®錠の保管について

他の人には決して渡さないで下さい。

乳幼児、子供の手の届かないところに保管して下さい。

お薬が残った場合は、廃棄して下さい。

直射日光や高温、湿気を避けて保管して下さい。

病院名 連絡先

薬局名 連絡先

日本臓器製薬
大阪市中央区平野町4丁目2番3号

TT201204E-1
作成年月2020年12月
改訂年月2021年 1月

®登録商標